

ごあいさつ

日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会
実行委員長 片岡 由起子

日光インカレへようこそ！！

日本国内、数あるテレインのなかで、屈指の「気持ち良さ」を誇るテレインが集まる日光地区におきまして、本インカレが開催でき、多くの学生の皆様にご参加いただけること、たいへん嬉しく思います。日光地区では4年に一度、インカレが開催されていますが、それぞれに特色をもって開催されてきました。インカレが現在のよくなクラシック・リレーの2日間大会になったのは、15年前、初めて日光で開催されたインカレでした。リメイクで行った2回目の日光インカレ、魅せる大会の先駆となった3回目の日光インカレ、そして今回、4回目の日光インカレです。今回は、これまでの蓄積を元に競技・演出ともに、一層充実したものとなっており、またインカレをより多くのオリエンティアの方に認知してもらうために、併設大会も充実させました。先輩オリエンティア、これから担う中高生オリエンティア、様々なオリエンティアの方が会場を訪れ、皆さんの走りを応援してくれるはずですよ。インカレならではの気合いの入った走りや応援で自分をアピールしてください。

1年生の皆さん、未知の体験ですね。

2年生の皆さん、なぜ今年もインカレに来てしまったのでしょうか？

3年生の皆さん、そろそろ自分の目指す方向が固まってきた頃でしょう。

4年生の皆さん、泣いても、笑っても、いよいよ最後のインカレですね。

皆さんは、インカレに何を求めていますか？

感動は、得ようと思って得られるものではありません。

涙は流そうと思って流せるものではありません。

そして、今年のインカレはいま、この時、この瞬間にしか存在しません。

競技面で最高のパフォーマンスが発揮できるように準備してきた人、そんな仲間を支えてきた人、応援に燃えている人……。いろいろな人がいることでしょう。実行委員会では、学生の皆様の様々な思いをしかと受け止めることのできる舞台を用意いたしました。自分なりの役割で、大暴れし、最高の舞台に仕上げてください。期待しております。

最後になりましたが、本インカレの開催にあたり、ご尽力頂きました関係各位の皆様、多大なるご協力を頂きました日光市、今市市の関係各位の皆様、そして大切な森林をオリエンテーリングの競技の場として快く提供してくださいました市民の皆様に感謝し、改めて深く御礼申し上げます。

20世紀最後のドラマの幕開けは、もう間もなくです。